Form No. 3370-998 Rev A

補助バルブ・キット

Groundsmaster® 3280-D トラクションユニット

モデル番号120-6640

取り付け要領

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	制御バルブ･アセンブリ	1	制御バルブを取り付けます。
	制御バルブのハンドル	1	
	制御バルブのピボットレバー	1	
	ソケットヘッドねじ（#10 x 1-1/4 インチ）	1	
	ロックナット (#10)	1	
	クレビスピン	1	
	コッターピン	1	
	油圧ホース	3	
	キャップスクリュ（1/4 x 2-3/4 インチ）	3	
	フランジロックナット（1/4 インチ）	3	
	トリムピース	1	
2	油圧ホース	2	油圧ホースを接続する。
	保護スリーブ	1	
	リテーナリング	1	
	ダストプラグ	1	
	ダストキャップ	1	
	クイックディスコネクト（ニップルとカップラ）	1	

その他の付属品

内容	数量	用途
取り付け手順書	1	セットアップに使用します
パーツカタログ	1	パーツ番号を調べるための資料です。

© 2012—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は： www.Toro.com.

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA
禁無断転載

1

制御バルブを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	制御バルブ･アセンブリ
1	制御バルブのハンドル
1	制御バルブのピボットレバー
1	ソケットヘッドねじ（#10 x 1-1/4 インチ）
1	ロックナット (#10)
1	クレビスピン
1	コッターピン
3	油圧ホース
3	キャップスクリュ（1/4 x 2-3/4 インチ）
3	フランジロックナット（1/4 インチ）
1	トリムピース

手順

1. 座席と座席ベースを機体から外す。
2. 燃料タンクを固定しているボルト類をゆるめて、右側フェンダに手が届く程度まで燃料タンクを持ち上げられるようにする。
3. 右側フェンダにある 3 つの穴を探し出す。
   - 後ろの穴が、図 1 に示すようにフェンダのエッジから 95 mm の位置にある場合には、4へ進む。

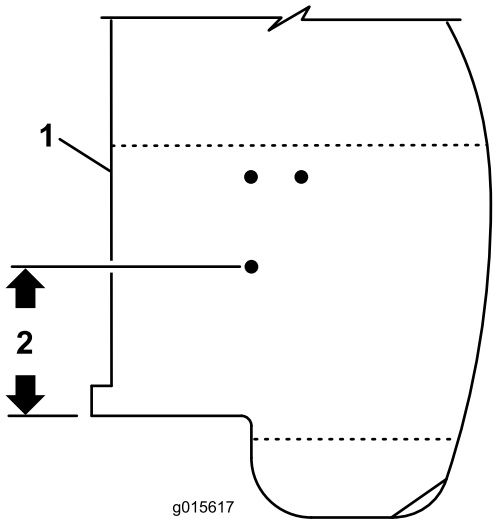


図 1

1. 右フェンダ　　2. 3.74 インチ（95 mm）

   - 後ろの穴が、図 2 に示すようにフェンダのエッジから 70 mm の位置にある場合には、新しい穴を開ける必要がある。図 2 に示す寸法に従って、フェンダに直径 8.7 mm の穴を 3 つ開ける。

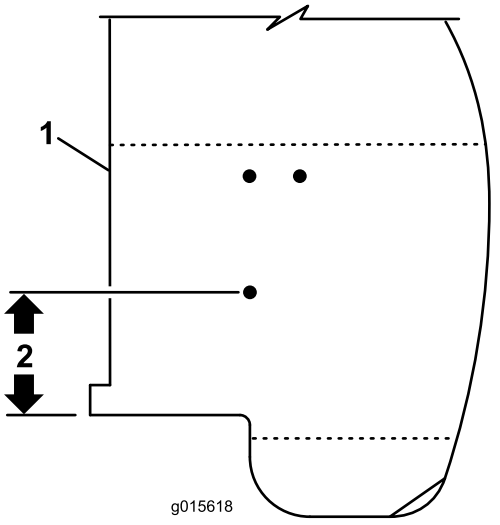


図 2

1. 右フェンダ　　2. 2.74 インチ（70 mm）

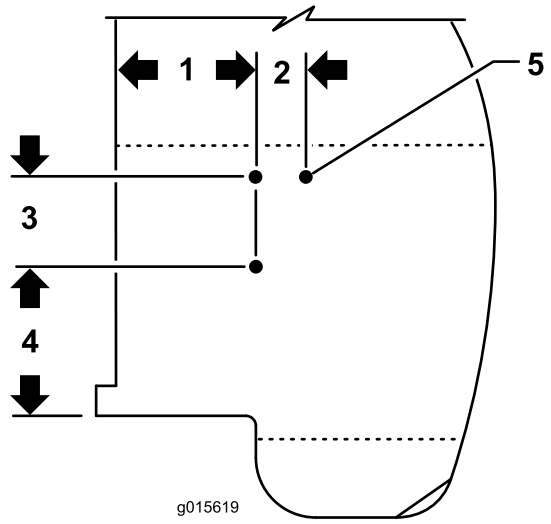


図 3

1. 3.50 インチ（89 mm）
2. 1.25 インチ（32 cm）
3. 2.25 インチ（57 mm）
4. 3.74 インチ（95 mm）
5. 0.344 インチ（直径 8.7 mm）

ステップ 4～8 は、シリアル番号が 310999999よりも若い番号の製品についてのみ行う。

4. 制御バルブとピボットレバーを右フェンダに取り付ける；キャップスクリュ（1/4 x 2-3/4 インチ）3本と、1/4インチのフランジロックナットを図 4のように使用する。

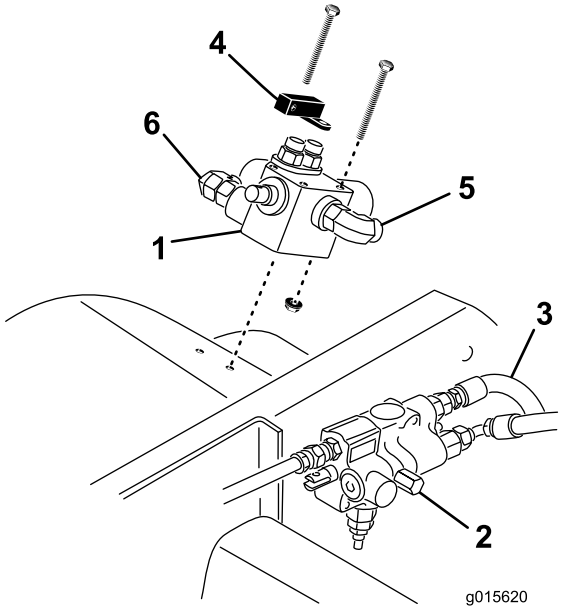


図 4

1. 制御バルブ
2. 昇降バルブ
3. ステアリングホース
4. ピボットレバー
5. 90度フィッティング（オペレータ側）
6. 90度フィッティング（外側を向いている面）

5. 昇降バルブの下に廃油受けの容器を置く図 4）。
6. ステアリングホース（図 4）を昇降バルブの P ポート（後ろ上のポート）から外す（ステアリングバルブから来ているホース）。

   注 油圧関係の接続を行う時には、0 リングが油圧オイルで適切に潤滑されて正しい位置にセットされていることを必ず確認してください。
7. ステアリングホース（昇降バルブの P ポートから来ている）を、コントロールバルブのオペレータ側の90度フィッティングに接続する（図 4）。
8. ストレートフィッティングと45度フィッティングのついている油圧ホース（キットに入っている）を、昇降バルブの P ポートと、コントロールバルブの外側にある90度フィッティングに接続する（図 4）。

ステップ 9～13 は、シリアル番号が 311000001またはそれ以上の番号の製品についてのみ行う。

9. 制御バルブとピボットレバーを右フェンダに取り付ける；キャップスクリュ（1/4 x 2-3/4 インチ）3本と、フランジロックナット（1/4インチ）を図 5のように使用する。
10. 昇降マニホルドの下にオイルを受ける容器をおく（図 5）。
11. ステアリングホース（図 5）を昇降マニホルドの上側面のポートから外す。

    注 このホースはステアリングバルブから来ています。

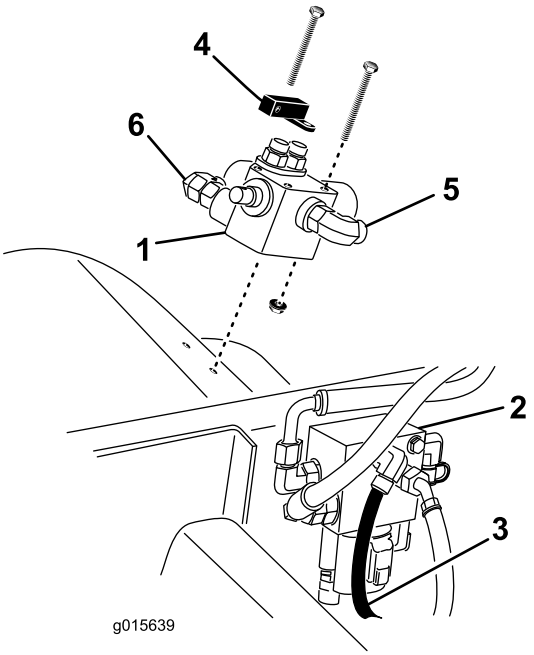


図 5

1. 制御バルブ
2. 昇降マニホルド
3. ステアリングホース
4. ピボットレバー
5. 90度フィッティング（バルブのオペレータ側）
6. 90度フィッティング（バルブの外側）

注 油圧関係の接続を行う時には、0 リングが油圧オイルで適切に潤滑されて正しい位置にセットされていることを必ず確認してください。

12. 外したステアリングホースに12インチホース（キットの付属品）を接続し、制御バルブのオペレータ側になる90度フィッティングに接続する（図 5）。
13. ストレートフィッティングのついている長い油圧ホース（キットに入っている）を、昇降マニホルドの空いたポート、および制御バルブの外側にある90度フィッティングに接続する（図 5）。
14. 2本の油圧ホースを、制御バルブの上部にあるフィッティングに接続する（図 6）。

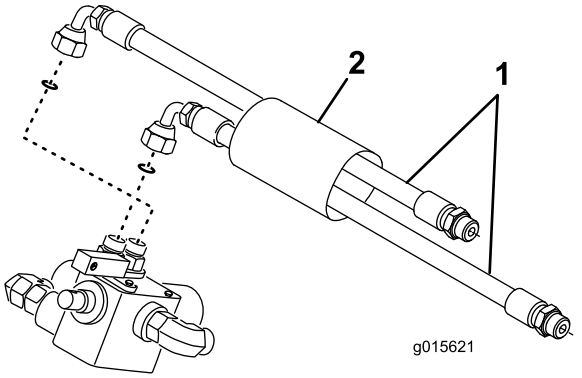


図 6

1. 油圧ホース
2. 保護スリーブ

注 2本の油圧ホースが、真っ直ぐに制御バルブの左側を指すように向いている（図 7）ように取り付けてください。このようにすれば、タンクとホースが干渉することがありません。

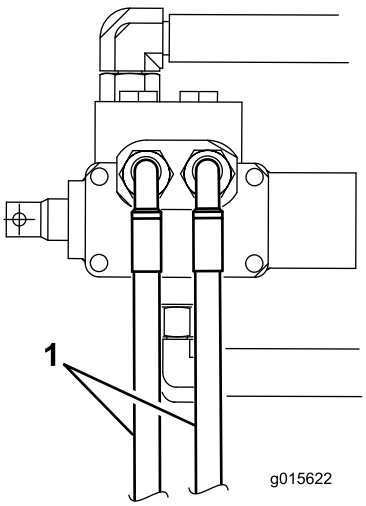


図 7

1. 油圧ホース(2)

15. ホースの上から保護スリーブを取り付けてる（図 6）。
16. 機体の下に置いてあった廃油受けを回収する。
17. 下コントロールパネルにある打ち抜きプラグ（デカルの下になっている）を打ち抜く（図 8 と 図 9）。

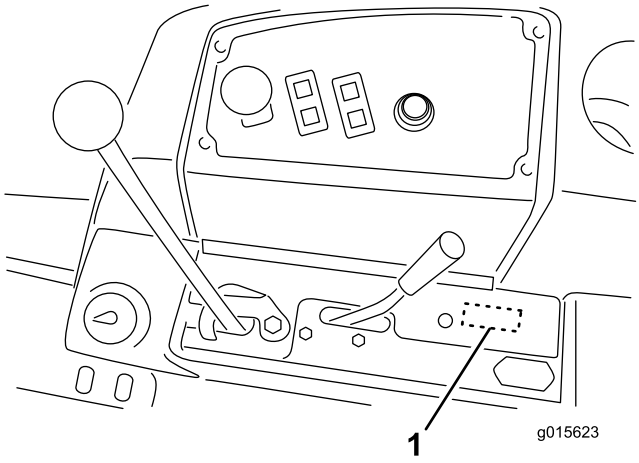


図 8

1. 打ち抜きプラグの位置

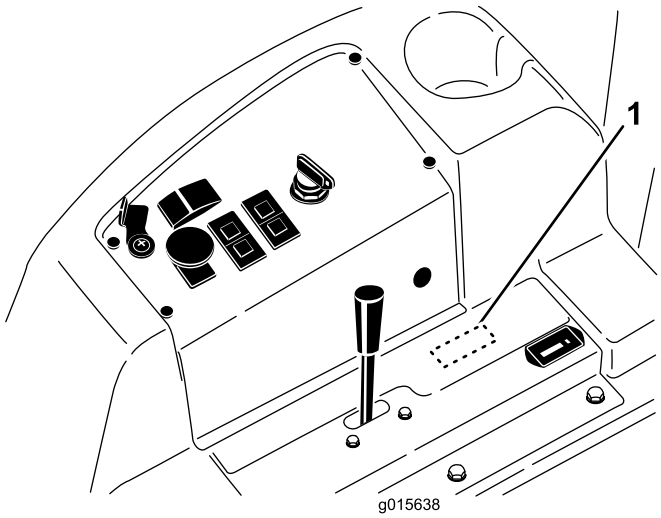


図 9

1. 打ち抜きプラグの位置

18. バルブスプールに、制御バルブハンドルを取り付ける；クレビスピンとコッターピンを使う。
19. ハンドルにピボットレバーを取り付ける；ソケットヘッドねじとロックナットを使用する（図 10）。

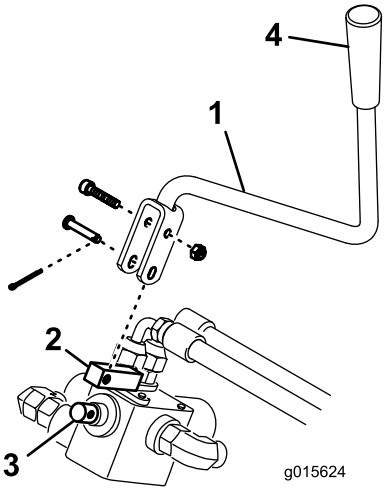


図 10

1. 制御バルブハンドル
2. ピボットレバー
3. バルブスプール
4. 制御ノブ

20. ハンドルに制御ノブを取り付ける（図 10）。
21. 右側昇降アームにカップラブラケットを取りつける； U ボルト（2本）、スペーサ（4個）、フランジナット（4個）を 図 11 のように使用する。

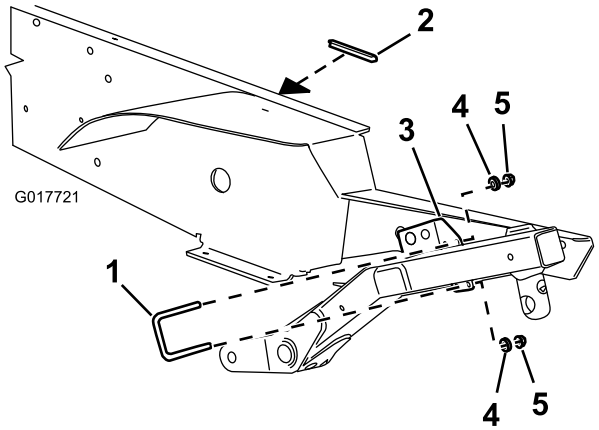


図 11

1. Uボルト(2)
2. トリムピース
3. カップラブラケット
4. スペーサ（4個）
5. フランジナット(4)

22. ホースをフレームレールから右側昇降アームに向かって配置する。
23. 上フレームの上部、ホースの下にトリムピースを取り付ける（図 11）。
24. 燃料タンク取り付け用のボルト類を取り付ける。
25. 座席ベースと座席を取り付ける

2

油圧ホースを接続する

この作業に必要なパーツ

2	油圧ホース
1	保護スリーブ
1	リテーナリング
1	ダストプラグ
1	ダストキャップ
1	クイックディスコネクト（ニップルとカップラ）

手順

1. ダストプラグのループ部に、バルブフィッティングから来ている油圧ホースを通す。
2. メスのカップラをカップラブラケットの下穴に通し、リテーナリングで固定する。
3. ホースアセンブリをメスカップラに固定する（図 12）。
4. ダストキャップ（図 12）のループ部に、後バルブフィッティングから来ている油圧ホースを通す。
5. ホース端部にオスのニップルを取り付ける。
6. ホースの端部をカップラブラケットの上穴に通す（図 12）。

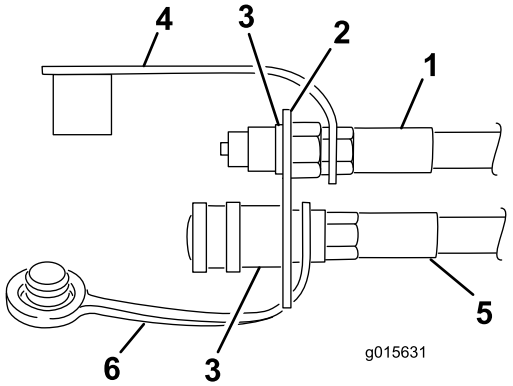


図 12

1. 上側の油圧ホース
2. カップラブラケット
3. リテーナリング
4. ダストキャップ
5. 下側の油圧ホース
6. ダストプラグ

7. リテーナリングで、ホース・アセンブリをブラケットに固定する。

メモ：



Count on it.